

相談支援専門員研修

基礎研修カリキュラム

1. 研修目的

今後増加が予測される超重症児をはじめとした子どもの在宅療養において、相談支援専門員が計画相談を中心に役割を果たすことができるよう基礎的知識を獲得できる研修を行う。

2. 研修目標

- 1) 医療的ケアのある子どもと家族に対する相談支援専門員に期待される役割を理解する
- 2) 子どもの在宅療養には欠かせない医療と教育について理解を深め、小児在宅医療の核となるネットワークが果たす役割を理解する
- 3) 医療的ケアのある子どもと家族の現状・支援の方向性を理解する
- 4) 年齢及び状態に応じた計画立案の要点を理解する

研修日	研修内容		時間
12月2日 火曜日	目標1～ 目標2	1 子ども達を取り巻く現状・課題 ・NICU/小児科病棟からの重症児の退院の増加 ・就学中の子どもが抱える問題 ・18歳の子どもが抱える問題 千葉リハビリテーションセンター愛育園園長 石井光子	9:00～ 10:30
		2 生活の中における医療的ケアと子ども 計画相談の対象となる子ども達とは たんぽぽセンター 相談支援専門員 外川 理恵	10:40～ 11:40
		3 障害のある乳幼児を養育している保護者を理解する視点 千葉リハビリテーションセンター看護局局长 荒木 暁子	12:50～ 13:20
		4 多職種連携の具体的な方法 小児等在宅医療連携拠点事業 事業専任者 谷口 由紀子	13:30～ 14:30
		5 医療・保健・福祉制度についての理解を深める ・各種助成制度（対象と各制度の関係性） ・訪問診療・看護・歯科・薬剤・リハビリテーション（PT/OT/ST）の法令や果たせる役割 ・医療用語の説明 ・母子入園・短期入所の対象と役割 千葉リハビリテーションセンター 療育指導部長 景山 朋子	14:40～ 15:40 休憩 15:50～ 16:50
12月8日 月曜日		1 成長と発達 発達段階に応じた見るべき視点と支援の方向性 千葉リハビリテーションセンター看護局局长 荒木 暁子	9:30～ 11:00
		2 教育制度について理解を深める ・教育用語（例特別支援学級と学校の違い等） ・学内の個別支援計画 ・学内の医療コーディネータとは 教員以外の多職種とのかかわりの経験のある教育庁職員	11:10～ 12:10 休憩 13:00～ 14:00
	目標3・4	3 経管栄養・気管切開児への具体的な支援プロセス 人工呼吸器装着児への具体的な支援プロセス 超重症児への具体的な支援プロセス 事業専任者 谷口 由紀子	14:10～ 15:10
		4 事例検討会（グループワーク） 麒麟会 MSW 吉橋准子	15:20～ 17:00

「12/2拠点事業アンケート」集計結果(回答45人)
職種(経験年数)

	人数	最短	最長	平均
相談支援専門員	29	0	5	1.27
行政職	24	1	20	5.90

質問1: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？
目標: 医療的ケアのある子どもと家族に対する相談支援専門員に期待される役割を理解する

質問1回答	達成できた	まあまあ達成できた	あまり達成できなかった	全く達成できなかった	無回答等	合計
人数	10	32	2	0	1	45

質問2: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？
目標: 子どもの在宅療養には欠かせない医療と教育について理解を深め、小児在宅医療の核となるネットワークが果たす役割を理解する

質問2回答	達成できた	まあまあ達成できた	あまり達成できなかった	全く達成できなかった	無回答等	合計
人数	9	31	4	0	1	45

質問3: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？
目標: 医療的ケアのある子どもと家族の現状・支援の方向性を理解する

質問3回答	達成できた	まあまあ達成できた	あまり達成できなかった	全く達成できなかった	無回答等	合計
人数	8	33	4	0	0	45

質問4: 子どもを取り巻く現状と課題は理解できましたか

質問4回答	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答等	合計
人数	14	29	2	0	0	45

質問5: 生活の中における医療的ケアのある子ども・計画相談の対象となる子どもと家族については理解が深まりましたか？

質問5回答	深まった	まあまあ深まった	あまり深まらなかった	深まらなかった	無回答等	合計
人数	15	29	1	0	0	45

質問6: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で、上記講義内容は活用できると思いますか？

質問6回答	大いに活用できる	まあまあ活用できる	あまり活用できない	活用できない	無回答等	合計
人数	20	23	0	0	2	45

質問7: 障害のある乳幼児を養育している保護者を理解する視点を理解できましたか

質問7回答	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答等	合計
人数	16	26	3	0	0	45

質問8: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で、上記講義内容は活用できると思いますか？

質問8回答	大いに活用できる	まあまあ活用できる	あまり活用できない	活用できない	無回答等	合計
人数	21	21	3	0	0	45

質問9: 他職種連携の具体的な方法については理解が深まりましたか？

質問9回答	深まった	まあまあ深まった	あまり深まらなかった	深まらなかった	無回答等	合計
人数	19	21	5	0	0	45

質問10: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で上記講義内容は活用できると思いますか？

質問10回答	大いに活用できる	まあまあ活用できる	あまり活用できない	活用できない	無回答等	合計
人数	23	19	3	0	0	45

質問11: 医療・保健・福祉制度についての理解は深まりましたか？

質問11回答	深まった	まあまあ深まった	あまり深まらなかった	深まらなかった	無回答等	合計
人数	16	26	2	0	1	45

質問12: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で上記講義内容は活用できると思いますか？

質問12回答	大いに活用できる	まあまあ活用できる	あまり活用できない	活用できない	無回答等	合計
人数	20	22	2	0	1	45

質問13: 今後医療的ケアのある子どもと家族に対する相談支援を行う上で、本研修内容以外に必要なと思う項目があれば、右にご記入ください。

質問13回答	有	無	無回答等	合計
人数	2	20	23	45

回答者No.

質問13、有と回答した方の具体的なテーマ

1	家族支援の具体例を聞きたいと思いました。
32	学校において、どのような支援を行っているか、どのようにしていけば同じチームとして連携していけるか

質問14: 本研修は、相談支援専門員と地域福祉に携わる行政職が同じ知識を共有し、子どもと家族に協働しながら支援を行える土壌作りを目標に、研修対象者相談支援専門員と行政職として実施しました。双方が同じ知識を共有することで、地域での相談支援事業は変化すると思いますか？

質問14回答	思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない	無回答等	合計
人数	27	14	3	0	1	45

質問15: 本研修の受講を同業者に勧めたいと思いますか？

質問15回答	思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない	無回答等	合計
人数	30	13	2	0	0	45

質問16: 研修全体の評価で該当する箇所を○で囲んでください。

質問16回答	素晴らしい	良い	普通	悪い	無回答等	合計
人数	13	25	6	0	1	45

その他の意見

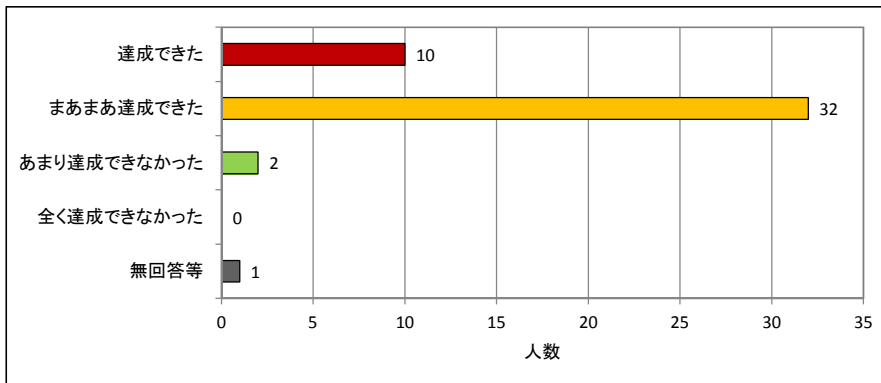
回答者No.

2	<p>今後、医療ケアの必要なお子さんの相談支援が大切な役割になってくると思う。それぞれの市によって対応の差が大きく千葉(南部)等、都市部にない悩みをかかえてくると思う。そのような視点も入れて考えていければと思う。</p> <p>※気になったこと</p> <p>業会の慣会なのか事業所・ヘルパー・専門員etc固有名詞に“さん”をつけているのが気になる。講義であるのだからきちんとと思う。再考を。</p>
3	<p>今後、高齢者も障害者・児も地域社会へ…の流れを受けて、医療的ケアを必要として在宅で生活する人は増えてくると思います。福祉と医療との連携はますます必要となりそうです。自分は看護職なので福祉の概念を知る機会でした。</p> <p>生活の質をよりよくするための関わりや支援はどこまでするのか正解はないと思います。医療サイドと福祉サイドでお互いが「こうあるべき！」と思うとギスギスするので子どものため家族のためいっしょによりよい方法を考えていけると良いと思います。</p> <p>市役所によってはワーカーが配置されている所もありますが、事務職員が福祉の窓口で対応する場合もあります。その時の担当によって対応が大きくかわってしまうこともあると思います。</p> <p>あきらめずにいろんな方々とかわって支援をつづけることが大事なんではないかと思います。</p>
13	<p>知らないことが沢山あり、大変勉強になりました。</p> <p>訪問看護で交渉次第により散歩につれて行ってもらえるという、大変良い情報を得ることができました。ありがとうございます。</p>
15	<p>研修の時間や休憩時間については、事前の内容と変わるのであればアナウンスしていただきたいです。</p> <p>2時間お話をきくのはきびしいです。</p>
18	<p>家族支援についてかけあしの講義だったので少し理解しきれないところがありました。よりくわしく学びたいと思いました。</p>
28	<p>内容が多岐に渡り、把握することが難しい。</p> <p>時間が長い。</p>

集計結果グラフ

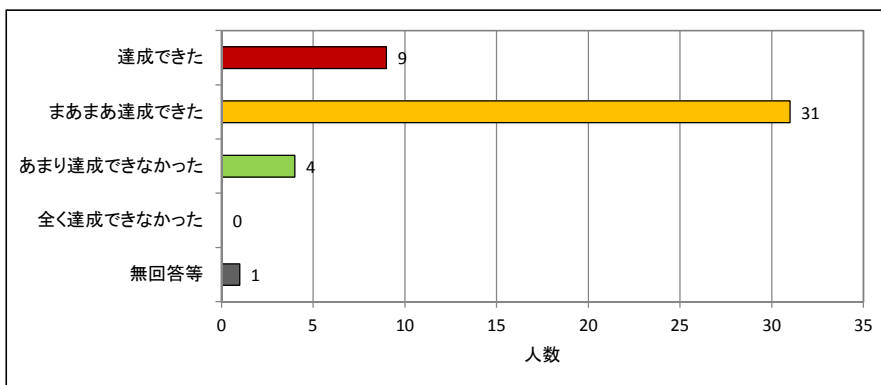
質問1: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？

目標: 医療的ケアのある子どもと家族に対する相談支援専門員に期待される役割を理解する



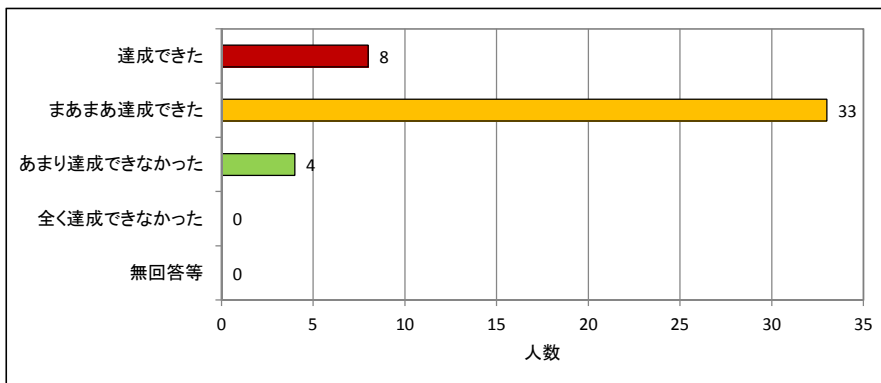
質問2: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？

目標: 子どもの在宅療養には欠かせない医療と教育について理解を深め、小児在宅医療の核となるネットワークが果たす役割を理解する

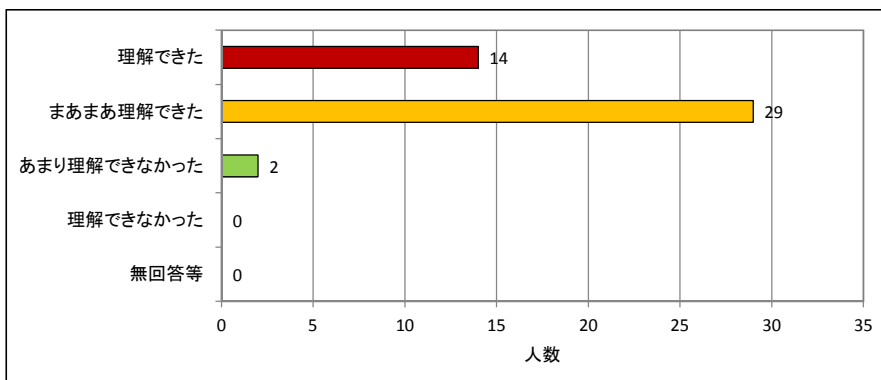


質問3: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？

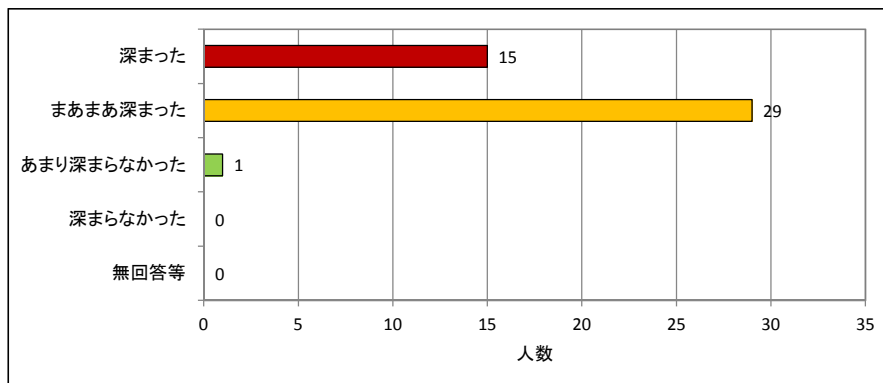
目標: 医療的ケアのある子どもと家族の現状・支援の方向性を理解する



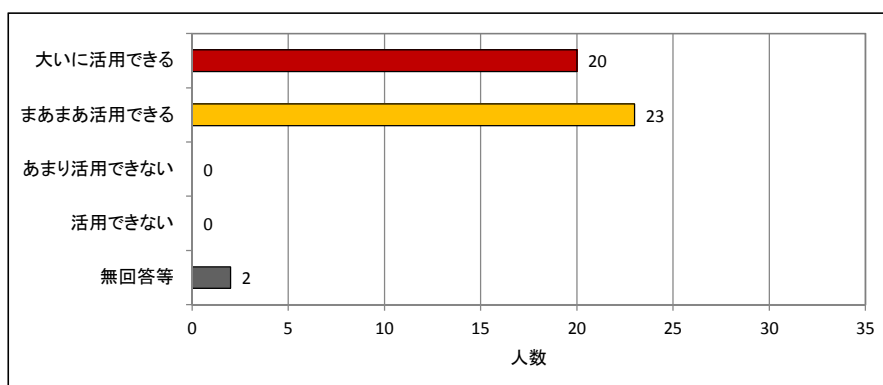
質問4: 子どもを取り巻く現状と課題は理解できましたか



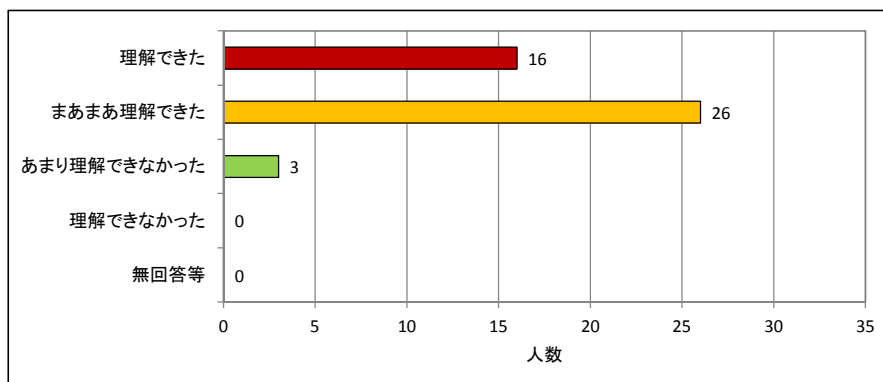
質問5: 生活の中における医療的ケアのある子ども・計画相談の対象となる子どもと家族については理解が深まりましたか？



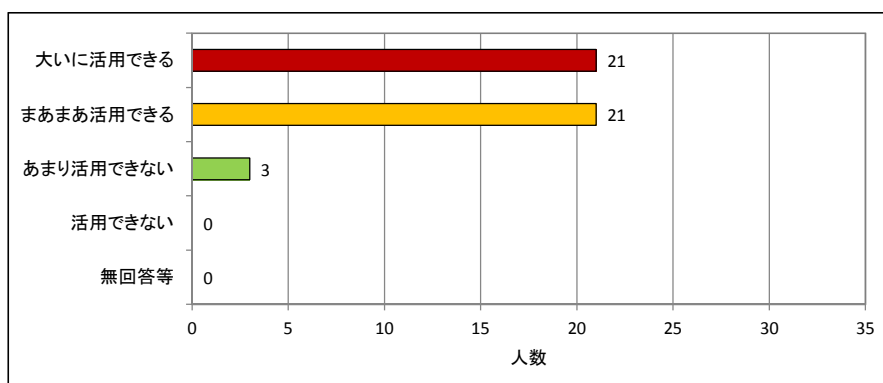
質問6: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で、上記講義内容は活用できると思いますか？



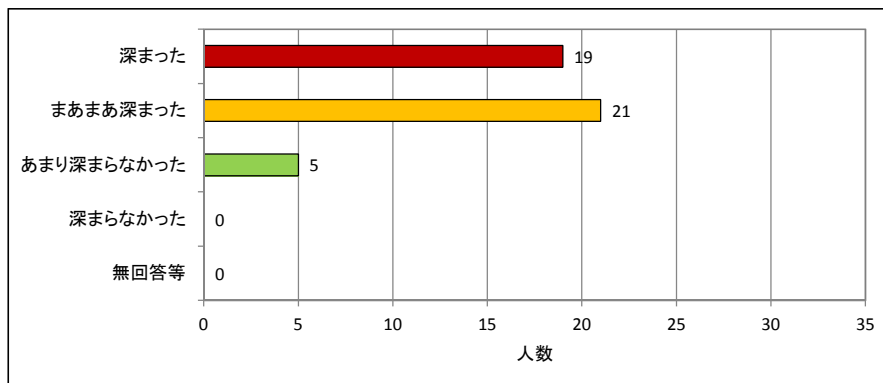
質問7: 障害のある乳幼児を養育している保護者を理解する視点を理解できましたか



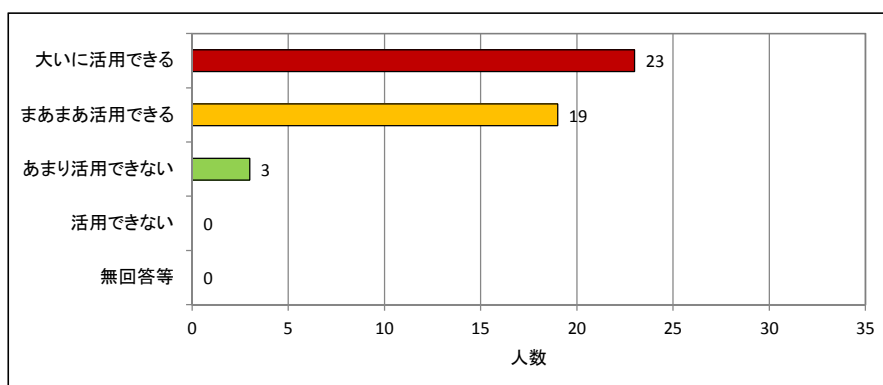
質問8: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で、上記講義内容は活用できると思いますか？



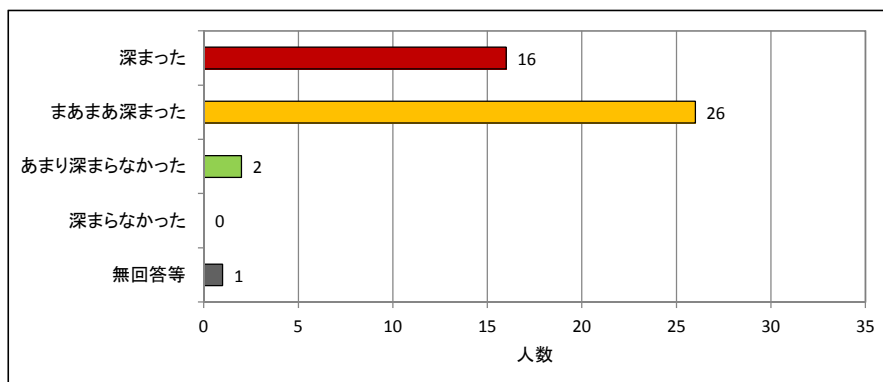
質問9: 他職種連携の具体的な方法については理解が深まりましたか？



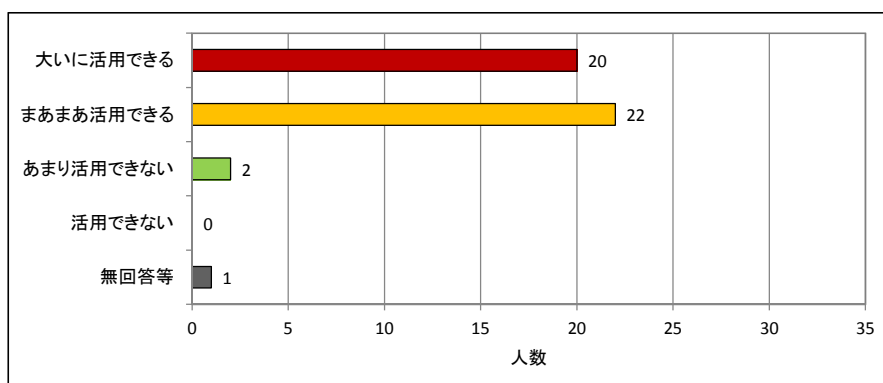
質問10: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で上記講義内容は活用できると思いますか？



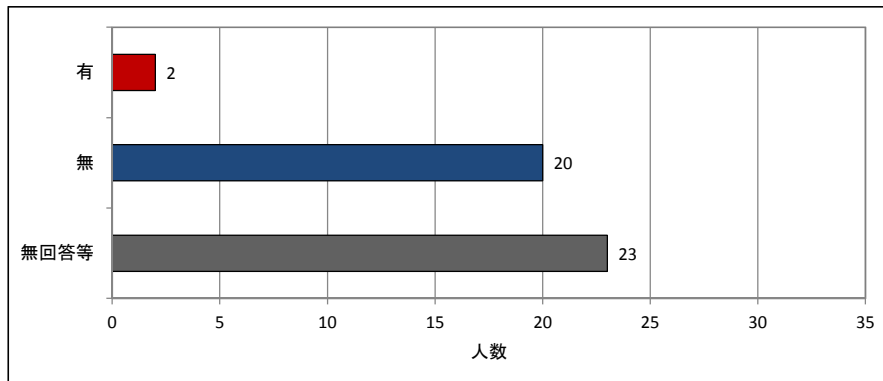
質問11: 医療・保健・福祉制度についての理解は深まりましたか？



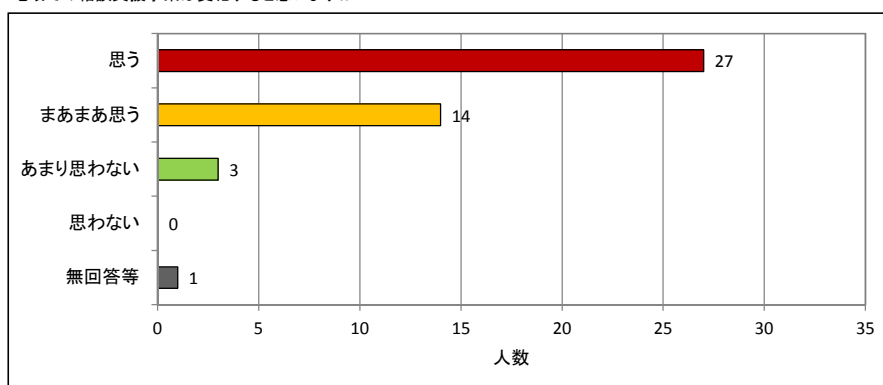
質問12: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で上記講義内容は活用できると思いますか？



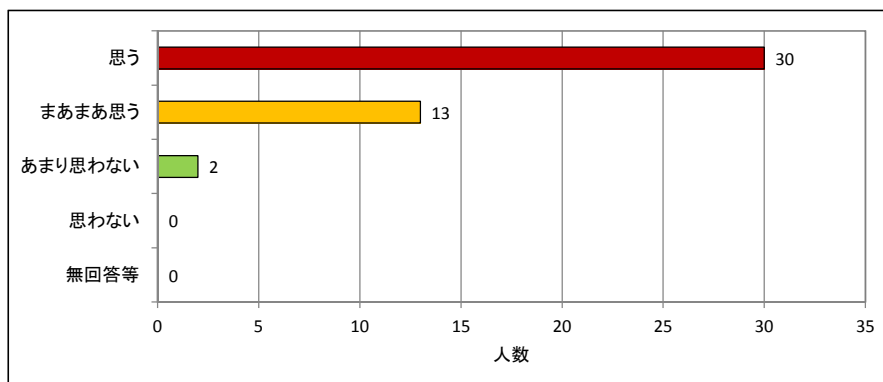
質問13: 今後医療的ケアのある子どもと家族に対する相談支援を行う上で、本研修内容以外に必要なと思う項目があれば、右にご記入ください。



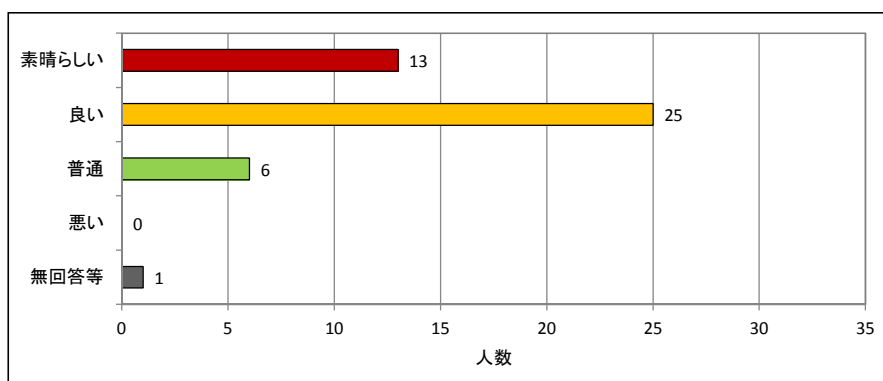
質問14: 本研修は、相談支援専門員と地域福祉に携わる行政職が同じ知識を共有し、子どもと家族に協働しながら支援を行える土壌作りを目標に、研修対象者相談支援専門員と行政職として実施しました。双方が同じ知識を共有することで、地域での相談支援事業は変化すると思いますか？



質問15: 本研修の受講を同業者に勧めたいと思いますか？



質問16: 研修全体の評価で該当する箇所を○で囲んでください。



「12/8拠点事業アンケート」集計結果(回答38人)

職種(経験年数)

	人数	最短	最長	平均
相談支援専門員	25	0	5	1.62
行政職	19	1.5	20	8.68

質問1: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？

目標: 医療的ケアのある子どもと家族に対する相談支援専門員に期待される役割を理解する

質問1回答	達成できた	まあまあ達成できた	あまり達成できなかった	全く達成できなかった	無回答等	合計
人数	8	26	0	0	4	38

質問2: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？

目標: 子どもの在宅療養には欠かせない医療と教育について理解を深め、

小児在宅医療の核となるネットワークが果たす役割を理解する

質問2回答	達成できた	まあまあ達成できた	あまり達成できなかった	全く達成できなかった	無回答等	合計
人数	5	29	0	0	4	38

質問3: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？

目標: 医療的ケアのある子どもと家族の現状・支援の方向性を理解する

質問3回答	達成できた	まあまあ達成できた	あまり達成できなかった	全く達成できなかった	無回答等	合計
人数	7	27	1	0	3	38

質問4: 成長と発達について理解は深まりましたか？

質問4回答	深まった	まあまあ深まった	あまり深まらなかった	深まらなかった	無回答等	合計
人数	15	19	1	0	3	38

質問6: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で、上記講義内容は活用できると思いますか？

質問6回答	大いに活用できる	まあまあ活用できる	あまり活用できない	活用できない	無回答等	合計
人数	18	17	0	0	3	38

質問7: 教育について理解を深めることができましたか？

質問7回答	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答等	合計
人数	6	28	2	0	2	38

質問8: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で、上記講義内容は活用できると思いますか？

質問8回答	大いに活用できる	まあまあ活用できる	あまり活用できない	活用できない	無回答等	合計
人数	12	22	2	1	1	38

質問9: 気管切開や人工呼吸器の子どもに対する支援のプロセスについて理解は深まりましたか？

質問9回答	深まった	まあまあ深まった	あまり深まらなかった	深まらなかった	無回答等	合計
人数	10	23	1	1	3	38

質問10: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で上記講義内容は活用できると思いますか？

質問10回答	大いに活用できる	まあまあ活用できる	あまり活用できない	活用できない	無回答等	合計
人数	13	24	0	0	1	38

質問11: 事例検討会を通じて、研修での学びを深めることはできましたか？

質問11回答	深まった	まあまあ深まった	あまり深まらなかった	深まらなかった	無回答等	合計
人数	19	18	0	0	1	38

質問12: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で本日経験した事例検討会の内容は活用できると思いますか？

質問12回答	大いに活用できる	まあまあ活用できる	あまり活用できない	活用できない	無回答等	合計
人数	15	19	2	0	2	38

質問13: 今後医療的ケアのある子どもと家族に対する相談支援を行う上で、本研修内容以外に必要なと思う項目があれば、右にご記入ください。

質問13回答	有	無	無回答等	合計
人数	4	13	21	38

回答者No.

質問13、有と回答した方の具体的なテーマ

13	医療的ケアの知識
16	未記入
30	未記入
31	未記入

質問14: 本研修は、相談支援専門員と地域福祉に携わる行政職が同じ知識を共有し、子どもと家族に協働しながら支援を行える土壌作りを目標に、研修対象を相談支援専門員と行政職として実施しました。双方が同じ知識を共有することで、地域での相談支援事業は変化すると思いますか？

質問14回答	思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない	無回答等	合計
人数	22	14	0	0	2	38

質問15: 本研修の受講を同業者に勧めたいと思いますか？

質問15回答	思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない	無回答等	合計
人数	24	12	1	0	1	38

質問16: 研修全体の評価で該当する箇所を○で囲んでください。

質問16回答	素晴らしい	良い	普通	悪い	無回答等	合計
人数	16	20	1	0	1	38

その他の意見

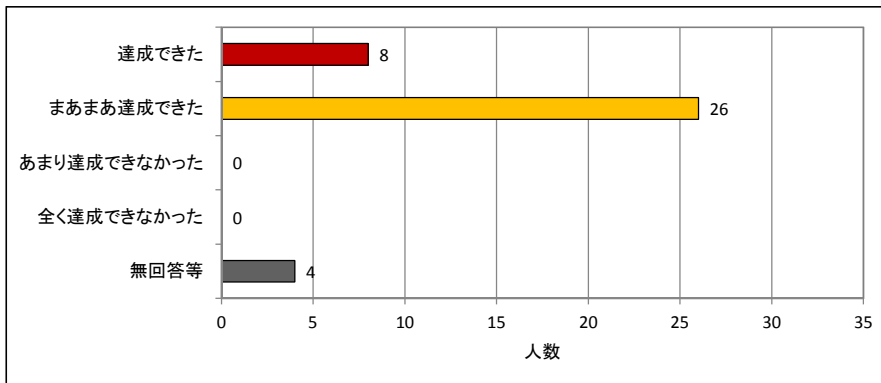
回答者No.

1	特別支援教育の話のレベルが低くてがっかりしました。教科書的なことではなく、実践的な内容でないと、この研修の主旨から外れてしまう気がしました。
26	次年度も継続して頂きたい内容でした。ありがとうございました。
31	・時間設定が短く、もう少し時間をかけて取り組みたかった。

集計結果グラフ

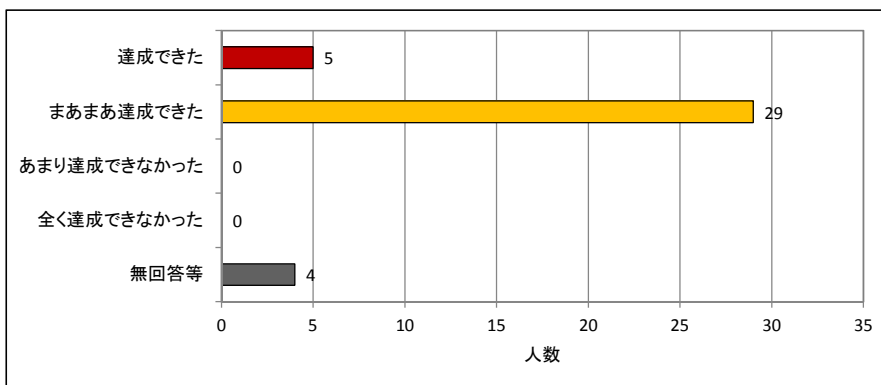
質問1: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？

目標: 医療的ケアのある子どもと家族に対する相談支援専門員に期待される役割を理解する



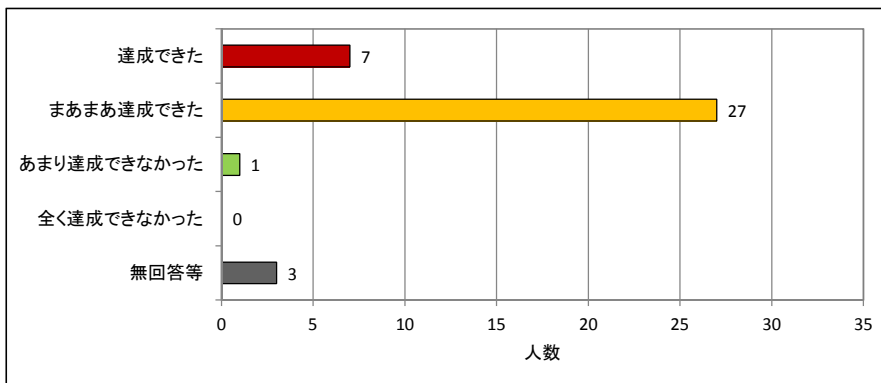
質問2: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？

目標: 子どもの在宅療養には欠かせない医療と教育について理解を深め、
小児在宅医療の核となるネットワークが果たす役割を理解する

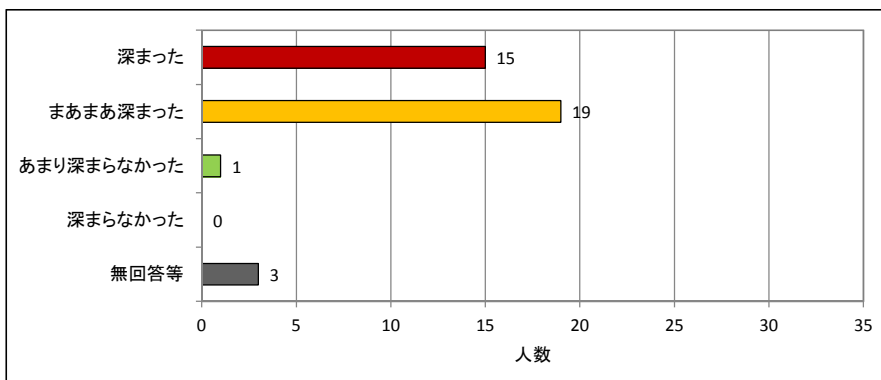


質問3: 本日の講義で、下記の研修目標をあなたは達成することができたと思いますか？

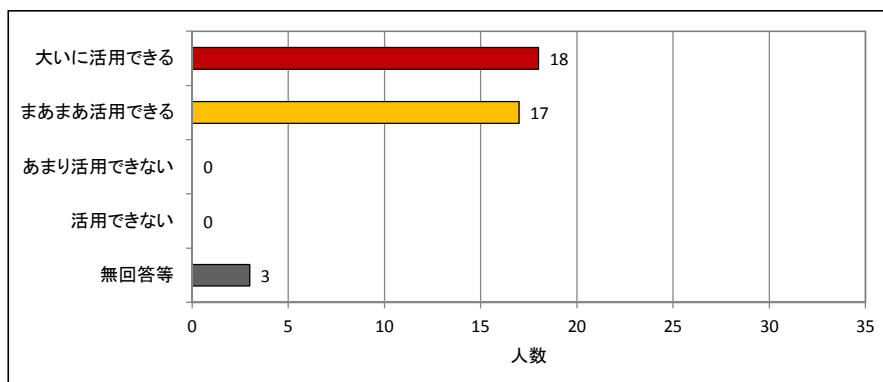
目標: 医療的ケアのある子どもと家族の現状・支援の方向性を理解する



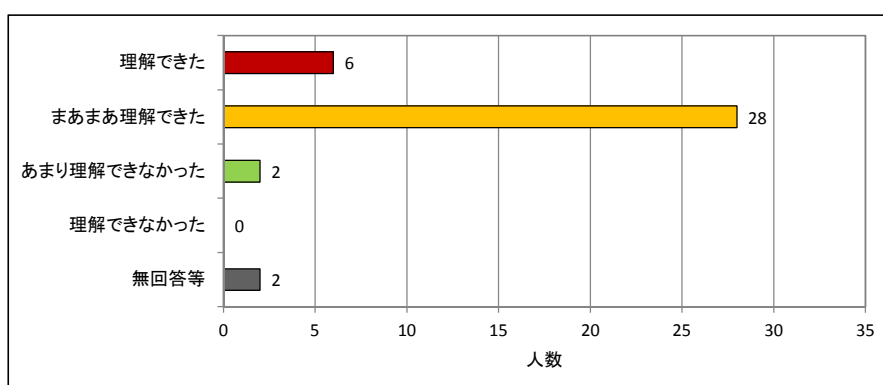
質問4: 成長と発達について理解は深まりましたか？



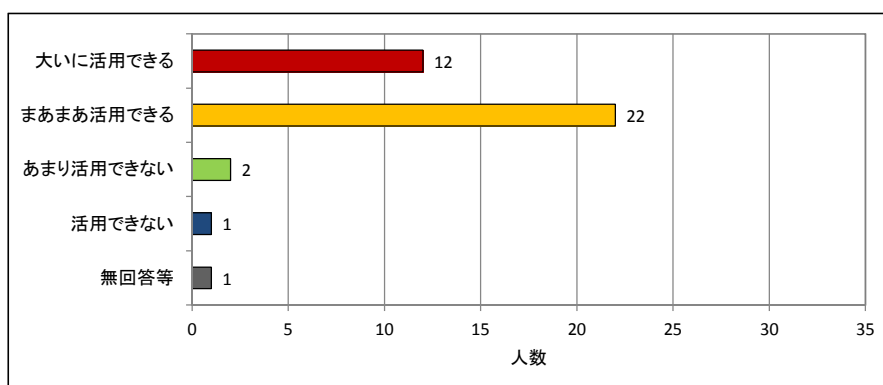
質問6: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で、上記講義内容は活用できると思いますか？



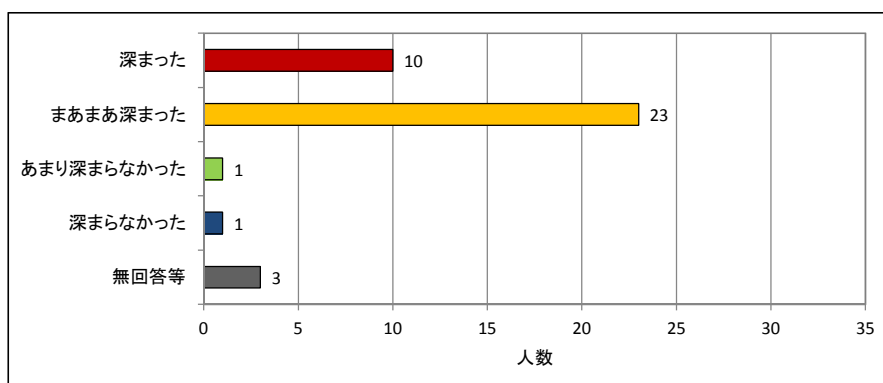
質問7: 教育について理解を深めることができましたか？



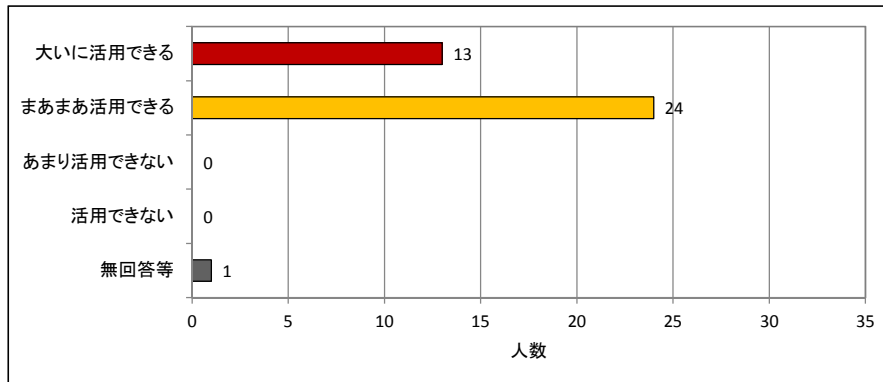
質問8: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で、上記講義内容は活用できると思いますか？



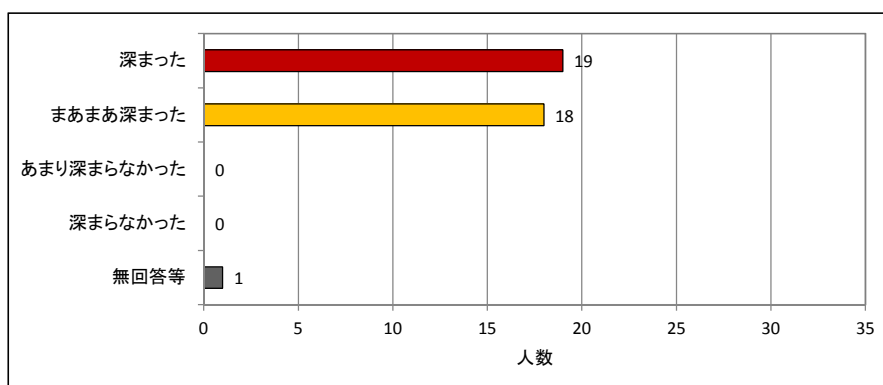
質問9: 気管切開や人工呼吸器の子どもに対する支援のプロセスについて理解は深まりましたか？



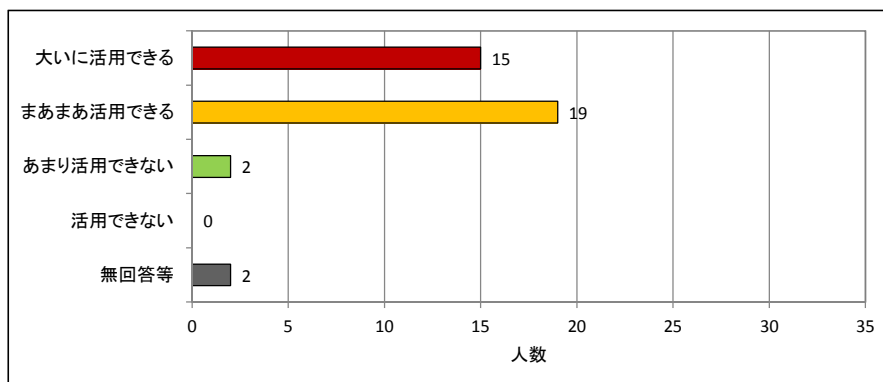
質問10: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で上記講義内容は活用できると思いますか？



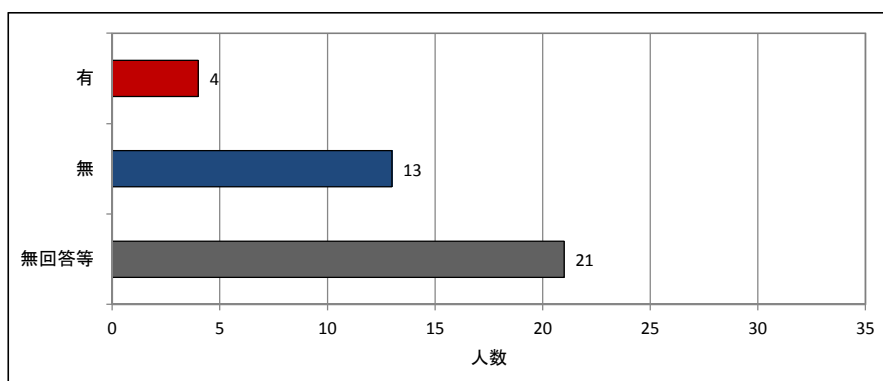
質問11: 事例検討会を通じて、研修での学びを深めることはできましたか？



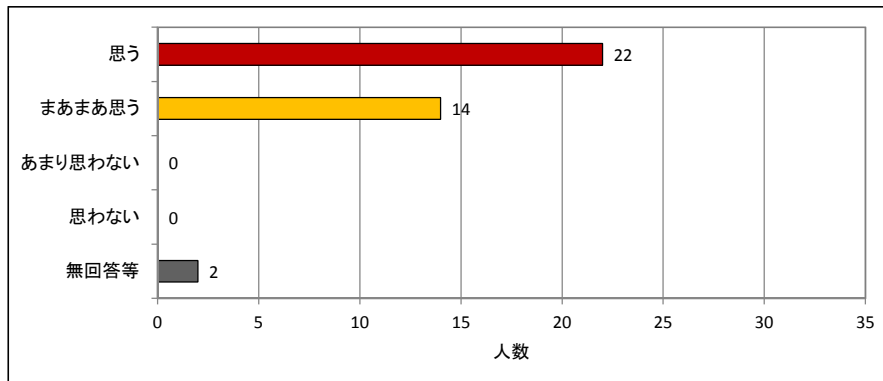
質問12: 今後、医療的ケアのある子どもへの支援で本日経験した事例検討会の内容は活用できると思いますか？



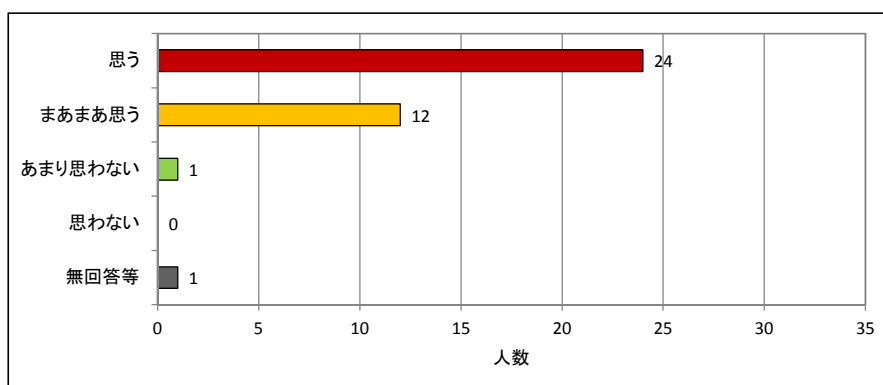
質問13: 今後医療的ケアのある子どもと家族に対する相談支援を行う上で、本研修内容以外に必要なと思う項目があれば、右にご記入ください。



質問14: 本研修は、相談支援専門員と地域福祉に携わる行政職が同じ知識を共有し、子どもと家族に協働しながら支援を行える土壌作りを目標に、研修対象者相談支援専門員と行政職として実施しました。双方が同じ知識を共有することで、地域での相談支援事業は変化すると思いますか？



質問15: 本研修の受講を同業者に勧めたいと思いますか？



質問16: 研修全体の評価で該当する箇所を○で囲んでください。

